



2023年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月10日

上場会社名 rakumo株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4060 URL <https://corporate.rakumo.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO兼COO (氏名) 御手洗 大祐
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 西村 雄也 TEL 050 (1746) 9891
 四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第2四半期の連結業績（2023年1月1日～2023年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		調整後EBITA ※		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第2四半期	597	15.9	151	50.4	147	46.4	143	50.3	97	49.5
2022年12月期第2四半期	515	11.9	100	8.5	100	8.5	95	7.2	65	△18.9

※調整後EBITA＝営業利益＋のれん償却費（PPAによる取得原価配分後の各種償却費を含む）

(注) 包括利益 2023年12月期第2四半期 108百万円 (33.7%) 2022年12月期第2四半期 81百万円 (△6.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第2四半期	17.02	16.39
2022年12月期第2四半期	11.49	11.16

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第2四半期	2,510	1,270	50.3
2022年12月期	1,776	1,152	64.9

(参考) 自己資本 2023年12月期第2四半期 1,263百万円 2022年12月期 1,152百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2023年12月期	-	0.00	-	-	-
2023年12月期（予想）	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年12月期の連結業績予想（2023年1月1日～2023年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,246	13.7	291	25.6	285	26.4	197	6.9	34.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期2Q	5,761,000株	2022年12月期	5,748,900株
② 期末自己株式数	2023年12月期2Q	67株	2022年12月期	67株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年12月期2Q	5,753,624株	2022年12月期2Q	5,697,825株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・2023年12月期の連結業績予想に記載の「1株当たり当期純利益」の計算の基礎となる期中平均株式数につきましては、2023年7月1日から2023年7月31日までの間の新株予約権の行使（4,100株）による株式増加数を反映させて算出しております。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

四半期決算補足説明資料はTDnetで同日開示するとともに、当社ホームページにも掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行となり、社会経済活動の正常化が進む中、設備投資の持ち直しや雇用情勢に改善の動きが見られるなど、緩やかに回復しました。先行きについては、各種政策の効果もあり、緩やかな回復が続くことが期待されます。一方、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっております。また、物価上昇や金融資本市場での変動等の影響に十分注意する必要があり、依然として不透明な状況にあります。

当社グループが事業展開するソフトウェア業界におきましては、企業の生産性向上や業務効率化、テレワーク等に関連したシステムへの投資需要拡大が引き続き見込まれます。政府が推進する「働き方改革」への取り組みに加え、在宅勤務やモバイルワーク等テレワークの実施、オフィス勤務とリモートワークを併用したハイブリッド勤務の増加等、「新しい働き方」が定着しつつあります。

かかる状況の下、当社は2023年5月にアドバンテッジアドバイザーズ株式会社との間において、事業提携契約を締結するとともに、同社親会社及び同社を含むアドバンテッジパートナーズグループの役職員が間接的に出資するファンドに対して、第8回新株予約権及び第1回無担保転換社債型新株予約権付社債を発行いたしました。

詳細につきましては、2023年5月12日発表の「事業提携に関するお知らせ」及び「第三者割当により発行される第8回新株予約権及び第1回無担保転換社債型新株予約権付社債の募集に関するお知らせ」をご参照ください。

本事業提携及びファイナンスにより、当社の自己資本充実と財務基盤の健全化・強化を図りながら、同社から得られる経営戦略、事業戦略、人事戦略及びM&A戦略等に関するアドバイスにより経営改革を推し進めることができると考えております。

このような状況の中、当社グループは、『仕事をラクに。オモシロく。』というビジョンのもと、『次のいつもの働き方へ。』をミッションに掲げ、オフィスの生産性向上に貢献すべく、企業向けグループウェア製品「rakumo」及び「gamba!」の機能強化及び更なる拡販に注力しました。

販売面においては、各種展示会への出展や販売パートナーとのセミナー実施等、売上増加に向けた関係強化に取り組みました。また、インサイドセールス（電話やメール等を活用したリード獲得）の内製化や、各種マーケティング施策にも積極的に取り組むことで、新たな案件創出に尽力しました。

加えて、クライアントニーズを勘案した既存製品の機能追加・改善や、製品の活用を促すための能動的なオンボーディング施策を実施する等、お客様満足度の向上や解約率の低減にも努めました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高597,646千円（前年同期比15.9%増）、営業利益147,419千円（前年同期比46.4%増）、経常利益143,727千円（前年同期比50.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益97,939千円（前年同期比49.5%増）となりました。

当社グループはITビジネスソリューション事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしていませんが、サービス別の経営成績は、以下の通りであります。

(SaaSサービス)

rakumo関連サービスにおいては、2023年6月末のクライアント数は2,397社（2022年12月末比63社増）、ユニークユーザー数は535千人（同33千人増）となりました。

売上増加に向け、自社セミナーを開催した他、Google社や販売パートナー主催のセミナー参加、展示会・カンファレンスイベント等への出展を行いました。また、パートナーの特徴に応じた顧客アプローチを行うことで、販売パートナーとの関係強化に取り組みました。インサイドセールスの内製化による柔軟・迅速な顧客対応の実施や、各種マーケティング施策にも積極的に取り組むことで、新たな案件創出に尽力しております。

加えて、クライアントニーズを勘案した既存製品の機能追加・改善や、製品間連携を訴求したパック製品の販売強化、顧客属性に応じた能動的なサポート・オンボーディング（活用促進）施策を実施することで、新規クライアントの獲得や、ユニークユーザー数及びユーザー1人当たり単価の増加に取り組みました。

また、社内SNS型日報アプリ「gamba!」においても同様に、拡販に努めました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は535,535千円（前年同期比21.0%増）となりました。

(ソリューションサービス)

当サービスにおいては、既存顧客への業務支援案件は安定的に推移しましたが、SaaSサービスに関する大型導入支援案件の月ずれ等もあり、当第2四半期連結累計期間の売上高は21,884千円（前年同期比16.9%減）となりました。

(ITオフィス開発サービス)

当サービスにおいては、既存顧客からのラボ型開発案件は比較的堅調に推移した一方、単発の受託開発については、SaaSサービスに注力したこともあり、前年同期比で減少いたしました。この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は40,227千円（前年同期比14.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は2,510,625千円となり、前連結会計年度末に比べ734,022千円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が722,502千円、繰延資産が14,078千円増加したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は1,240,360千円となり、前連結会計年度末に比べ616,245千円増加いたしました。これは主に、転換社債型新株予約付社債が500,000千円、契約負債が140,518千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は1,270,265千円となり、前連結会計年度末に比べ117,776千円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益97,939千円を計上したことにより、利益剰余金が増加したことによるものであります。この結果、自己資本比率は50.3%（前連結会計年度末は64.9%）となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ722,445千円増加し、2,106,502千円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果得られた資金は、284,899千円（前年同期比36.3%増）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益143,727千円、契約負債の増加額140,008千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果使用した資金は、34,648千円（前年同期比43.6%減）となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出25,669千円、投資有価証券の取得による支出5,000千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果得られた資金は、462,335千円（前年同期は10,217千円の使用）となりました。これは主に、転換社債型新株予約権付社債の発行による収入495,052千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2023年2月10日の「2022年12月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,435,554	2,158,057
売掛金	47,374	37,947
仕掛品	380	283
貯蔵品	155	160
その他	44,602	52,000
流動資産合計	1,528,067	2,248,448
固定資産		
有形固定資産	20,084	20,668
無形固定資産		
のれん	84,794	80,756
ソフトウェア	52,652	62,157
ソフトウェア仮勘定	13,905	11,690
無形固定資産合計	151,351	154,604
投資その他の資産	77,100	72,825
固定資産合計	248,536	248,098
繰延資産	-	14,078
資産合計	1,776,603	2,510,625
負債の部		
流動負債		
買掛金	33,885	38,819
1年内返済予定の長期借入金	40,000	-
未払法人税等	23,920	42,541
契約負債	433,954	574,472
賞与引当金	5,916	7,156
資産除去債務	1,847	-
その他	64,391	56,981
流動負債合計	603,914	719,971
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	-	500,000
長期借入金	10,000	10,000
資産除去債務	8,740	9,439
その他	1,459	948
固定負債合計	20,199	520,388
負債合計	624,114	1,240,360
純資産の部		
株主資本		
資本金	390,235	391,331
資本剰余金	351,085	352,181
利益剰余金	394,808	492,748
自己株式	△112	△112
株主資本合計	1,136,016	1,236,147
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	-	△126
為替換算調整勘定	16,473	27,325
その他の包括利益累計額合計	16,473	27,198
新株予約権	-	6,919
純資産合計	1,152,489	1,270,265
負債純資産合計	1,776,603	2,510,625

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
売上高	515,769	597,646
売上原価	189,623	213,073
売上総利益	326,145	384,573
販売費及び一般管理費	225,418	237,153
営業利益	100,727	147,419
営業外収益		
受取利息	21	23
その他	0	31
営業外収益合計	21	55
営業外費用		
支払利息	967	104
為替差損	4,169	2,351
その他	0	1,291
営業外費用合計	5,137	3,747
経常利益	95,611	143,727
税金等調整前四半期純利益	95,611	143,727
法人税、住民税及び事業税	15,066	37,350
法人税等調整額	15,051	8,438
法人税等合計	30,117	45,788
四半期純利益	65,493	97,939
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	65,493	97,939

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	65,493	97,939
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	△126
為替換算調整勘定	15,757	10,852
その他の包括利益合計	15,757	10,725
四半期包括利益	81,250	108,664
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	81,250	108,664
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	95,611	143,727
減価償却費	17,944	20,662
のれん償却額	—	4,037
受取利息及び受取配当金	△21	△23
支払利息	967	104
売上債権の増減額 (△は増加)	2,646	9,829
棚卸資産の増減額 (△は増加)	13	108
仕入債務の増減額 (△は減少)	3,808	4,906
繰延資産償却額	—	643
賞与引当金の増減額 (△は減少)	4,852	1,047
投資事業組合運用損益 (△は益)	—	647
契約負債の増減額 (△は減少)	129,946	140,008
前渡金の増減額 (△は増加)	532	4
前払費用の増減額 (△は増加)	△14,011	△8,312
未収消費税等の増減額 (△は増加)	△888	△1,077
未収入金の増減額 (△は増加)	2,116	1,879
未払金の増減額 (△は減少)	11,056	△2,754
未払費用の増減額 (△は減少)	△4,769	△4,353
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△11,851	△4,513
未払法人税等 (外形標準課税) の増減額 (△は減少)	△856	△23
預り金の増減額 (△は減少)	△2,981	△3,730
差入保証金の増減額 (△は増加)	490	909
その他の損益 (△は益)	12	55
小計	234,618	303,783
利息及び配当金の受取額	21	23
利息の支払額	△970	△202
法人税等の支払額	△24,647	△18,705
営業活動によるキャッシュ・フロー	209,022	284,899
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△763	△2,032
投資有価証券の取得による支出	△5,000	△5,000
無形固定資産の取得による支出	△21,635	△25,669
資産除去債務の履行による支出	—	△1,946
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△34,041	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△61,439	△34,648
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△10,835	△40,000
転換社債型新株予約権付社債の発行による収入	—	495,052
株式の発行による収入	618	2,192
新株予約権の発行による収入	—	5,090
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10,217	462,335
現金及び現金同等物に係る換算差額	13,598	9,859
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	150,964	722,445
現金及び現金同等物の期首残高	1,239,793	1,384,056
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,390,758	2,106,502

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)

当社グループはITビジネスソリューション事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

当社グループはITビジネスソリューション事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。